



尚徳福祉会 末長こぐま保育園

『本当にもう梅雨明け!?!』と、驚いて空を見上げてしまうような元気なお日様が照り付ける日が続いています。大人はぐったりしがちですが、子どもたちはお日様にも負けないくらいのキラキラの笑顔で毎日過ごせています。

園庭に張られた日よけの下に入ると少し暗くて涼しいこと、しおれかけた栽培野菜にお水をあげると元気になること、飼っていた青虫がアゲハ蝶に変身したこと等、実体験する中で不思議がったり発見したりしながら夏という季節を全身で学んでいる子どもたちです。

体調に気をつけながら夏ならではのダイナミックなあそびを十分に楽しみ、もう一回り成長できるようにしていきたいと思います。



生活の様子

自分でシャワー前後の着替えをしようと頑張っています。いつもの着替えに加えてラップタオルがあったり、場所が変わったりで、戸惑うことも多くあります。でも、『先生、これであって?』と確認したり、『ボタンが…』と困ったりしながらも自分でしようと頑張っています。小さなことではありますが、自分でできた!を積み重ねて、自信を持ち次への意欲を芽生えさせている子どもたちです。

あそびの様子

七夕や夏祭りに向けて、製作遊びの機会が増えています。先生が用意を始めると『やりたあ〜い!』と子どもたちが集まってきます。今は、ちぎる・丸める・貼るに取り組んでいます。うさぎ組の子どもにとっては、糊を適量つけることが難しく、つけすぎてベタベタになりがちです。だから、糊の消費量は、想像を超えてしまいます。でも、経験を重ねることで感覚的に適量を学んでくれます。



お知らせとお願い

※9時以降の登園の場合は、玄関対応となります。朝の用意を丁寧にする経験ができるように余裕のある登園時間にご協力ください。

※お昼寝の防水シートやエコバッグにも、**分かりやすく記名**をお願いします。

※着替えの機会が多くなるので、**衣類全てに記名**をお願いします。

※ラップタオルのボタンが外せず困っている子どもが多くいます。**ボタンは開いた状態でプールバックに入れて**おいてください。また、自分でボタンができるように自宅でも親子で練習をお願いします。

